

# 今日からはじめる組織切片からの遺伝子解析セミナー 参加報告

医学系部門 生命科学実験班 尾崎 佑子

## 1. はじめに（目的等）

あらゆる細胞や組織の機能を可視化してその生命現象の本質に迫る組織細胞化学の技術は、生命科学分野の研究に必要不可欠な実験手法となっている。私が配属されている原医研では技術支援の一つとして、これらの手技を用いた組織標本作製を行っている。その中で、少数ではあるが、組織切片から遺伝子(核酸)解析を行いたいといった問い合わせもある。こうしたユーザーからの要求に応えるためには、組織細胞化学だけではなく、他分野の知識や技術も必要となってくる。そこで、新たな知識や技術の習得・情報収集を行うことを目的として、本セミナーに参加した。

## 2. 期間・場所

期間：平成 29 年 6 月 2 日

会場：ライフテクノロジーズジャパン株式会社本社（東京都港区）

## 3. 参加者等

受講者：5 名

## 4. 研修内容

- ・ 遺伝子解析のための切片作成、染色、抽出のコツ
- ・ マイクロダイセクションを活用した微量サンプルの回収

- ・ リアルタイム PCR、デジタル PCR、次世代シーケンサによる遺伝子解析実施例
- ・ クリオスタット、マイクロダイセクション装置デモンストレーション
- ・ デジタル PCR、次世代シーケンサ等の最新解析装置紹介

## 5. まとめと感想

今回のセミナーでは、遺伝子解析のための切片作製・染色・抽出のコツや、原医研にも導入されているレーザーマイクロダイセクション装置を用いた微量サンプルの回収法など、新たな知識や技術、情報を得ることができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

以前に参加した講習会で、レーザーマイクロダイセクション装置を用いてサンプルを回収し、核酸抽出を正確に行うためには「きれいな組織切片」を準備する必要があることを簡単に学んだが、今回のセミナーではその「きれいな組織切片」を作製する上で必要な操作や注意点、裏技などをより詳しく学ぶことができ、これまで行っていた手技を見直す良い機会となった。また、レーザーマイクロダイセクション装置などを用いて回収した微量サンプルを実際にどのように解析・評価していくかなどの説明もあり、大変参考になった。

今後は本セミナーで学んだ知識や技術を活かし、効率的で質のよい技術支援ができるよう、さらに自己研鑽を積んでいきたい。